



トピックス

- 春本番、農作業も本格化！

- いよいよ種をまきました。
- 千客万来。子供たちも元気一杯。

雷を伴った春の嵐。満開だった庭の桃がものすごい花吹雪となって散りました。朝晩が冷え込まないっていいものですね。春爛漫です。

さて、この1ヶ月でいろんな農作業がありました。ちょっとご紹介します。

- 堆肥や有機肥料の散布
- トラクターでの耕運
- あぜ草の処理（焼いたり切ったり）
- 苗箱用の泥準備、苗箱に泥つめ
- 育苗用のビニールハウス準備
- 種籾（たねもみ）の準備、種まき
- あぜ塗り（田んぼの水がしっかり溜まるようにあぜを泥で塗り固めます）



この他にも、機械の整備をしたり、倉庫やビニールハウス内の片づけをしたり、菜園に野菜を植えたり...。晴れの日も雨の日もすることがたくさん。それに、「堆肥まき」と一言で言っても、牛小屋から軽トラックで堆肥を運び出し、それを田んぼに下ろして、さらにトラクターの後ろに積みなおして撒く、という風に何段階もあるのです。田んぼの準備と苗の準備が重なるこの時期が一番「いろんな種類の」作業があるような気がします。



種まきは4月14日に行いました。去年から導入した「種まき機」に加え、隣人一家が手伝ってくれました。中でも、小学校に入ったばかりの男の子は、機械の目詰まりをチェックする係として大活躍。土が落ちてこなくなると、「詰まった～！！」と大声で知らせてくれる、元気なセンサーでした。底に土を敷いた苗の箱をベルトに載せると、ゆっくり進んで種が撒かれ、水がかかり、土が被って出てきます。あとはそれをビニールハウスの中に並べて、耕太が最終チェック。そしてシートをかぶせればできあがり。これから田植えまでの約2週間、ハウスの中で苗が育ちます。丈夫な苗になあれ！！



今月はいろんな取材を受けました。毎日新聞、日経新聞、ヤングジャンプ、熊日新聞。どうしちゃったのでしょうか！？農業関係以外の雑誌や新聞で、農業の楽しさや大切さを伝えていけたら本望だなあと思っているので、嬉しい限りなのですが、なんだかあんまりめじろ押しだったので、ちょっとびっくりしています。日経新聞は4月16日から3日間の連載。ご覧になった方もいらっしゃるようですが、そのうちまたホームページに掲載します。ヤングジャンプと言う漫画雑誌は、5月10日発売号に載るそうです。よかったらご覧になってください。



ドイツに留学していた頃にお世話になった、ドイツ人夫妻がやってきました。「孫に会いに来た」という彼ら。別府に行った以外はほとんど阿蘇近辺ですごし、耕太の農作業に興味深そうに眺めたり、子守を手伝ったりしてくれました。ただ到着後の刺身で下痢を起こした為に日本食は敬遠気味。「日本のパンもおいしいねえ」なんていいながら、主にパンやハム、チーズを食べていました。うちは米農家だって言うのに…。



子供たちは晴れていればほとんど外で過ごしています。菜園のネギを食べたり、子犬を冷やかしたり。励志&耕太が軽トラックに乗っているのを見ると、あれに乗りたい、と大騒ぎ。乗せてもらおうと、嬉々としてハンドルを回したり、ウィンカーをいじってみたり。やっぱり男の子ですね。



来月の発送までには田植えが終わっている予定です。おいしいお米ができるよう、元気に作業をすすめていきます！皆さんもどうぞ健康第一でお過ごし下さい。